２０２２年（令和４年）　７月　６日　水曜日

デーリー東北　１０面　掲載

星空ポケット☆

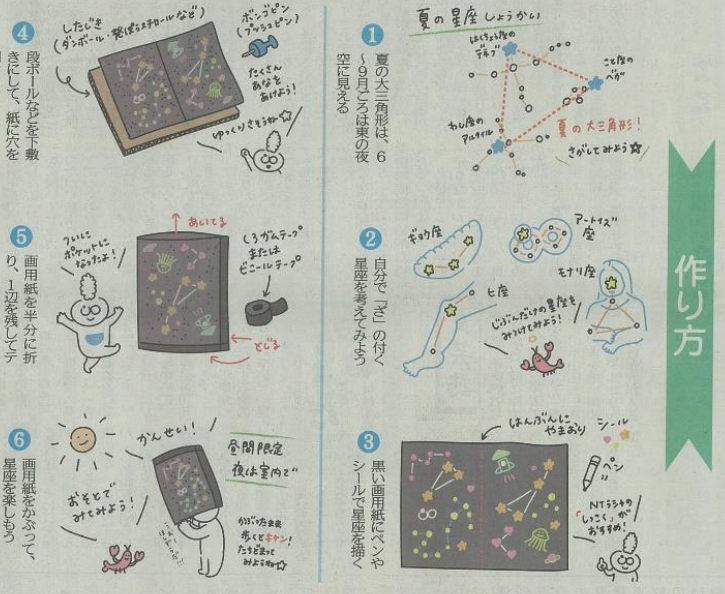
アートイズと学ぶ
育てるアート

連載「アートイズと学ぶ　育てるアート」では、八戸市の現代芸術教室「アートイズ」の講師に、子どもがアートに触れる大切さや、保護者はどのようにして子どもの芸術活動を見守るべきかをアドバイスしてもらいます。
※毎月第１水曜日掲載

準備するもの

＜材料＞
・黒い画用紙（お薦めはNTラシャ紙の漆黒）
・下敷き（段ボールや発泡スチロール）
・黒いガムテープや黒いビニールテープ
・装飾用のシールやマスキングテープ
＜道具＞
・ポンプピンやプッシュピン（針の細さの種類があると良い）
・ペン（お薦めはポスカ）

作り方



自分だけの夜空をつくれる星空ポケット

自分だけの夜空つくろう

夜、玄関を開けてすぐの夜空を見たことがあるでしょうか？　星は幾つ見えるでしょうか？　見えている星はほんの一部で、本当は夜空を埋め尽くしてしまいそうなくらいの星が輝いています。

人の目で見ることができる星は、およそ3千個。6月から8月の夜空には、はくちょう座のデネブとわし座のアルタイル（彦星）、こと座のベガ（織姫）の三つの1等星からなる「夏の大三角形」が描かれます。ほかにも、天の川に北斗七星、赤く輝くさそり座の1等星など、迫力のある星や星座がたくさん！

星座は、20世紀の初めに国際天文学連合により88個に整理され、全世界共通の星座が決められました。「はえ座」や「かみのけ座」など、「なぜ？」と思う星座があったりします。お子さんと一緒に知っている星座を言い合ったり、「ざ」の付く物を探してみたりしましょう。「ひざ」「ピザ」「モナリザ」「ギョーザ」「フリーザ」など、たくさん出てきます。「星空ポケット☆」は、明るい場所でもいつでも星を見ることができます。新しい星座を描いて、自分だけの夜空をつくってみましょう。

7月7日は七夕。七夕は、織姫と彦星が1年に1度だけ、天の川で会える日とされています。短冊に願いを書いて星に願う日として有名ですが、どうしてそのような日になったのでしょう？　七夕を「たなばた」と読むのはなぜ？　星と星をつなげる線は見えません。宇宙のことは、分からないことだらけ。昔の人がしたように見立てを楽しみながら、たくさんの不思議をお子さんと一緒に考えてみてください。

プロフィル

佐貫巧（さぬき・たくみ）
1982年、静岡市生まれ。多摩美大卒、東京芸大大学院修了。現在、八戸学院大短期大学部幼児保育学科准教授。2014年より八戸圏域で現代芸術教室「アートイズ」を主宰し、アートを通して少しでも生きやすい世の中をつくる活動をしている。おいらせ町在住。

現代芸術教室 アートイズ

アートイズのHPはこちらから

デーリー東北新聞社提供